



守口市職労
の新入職員
歓迎会

住民のために! 働きがいある職場を!

一緒につくるら

4月1日、多くの仲間が府下の自治体に採用されました。新入職員は、「働くうえで一番大事にしたいことは」との問いに「仕事のやりがい」47%、「働きやすい職場環境」25%、「職場の人間関係」13%と答えています。(大阪府職労アンケート285人回答)

府政に期待することへの自由欄には、「府民が将来に希望をもって暮らせるように」「福祉の向上に寄与したい」「住民にも優しく、職員にも優しい府政を」などの意見とともに、「自由に意見を言えて、意見が採用される環境を」などの声があがっています。

住民のために、働きがいある職場環境をつくるために、自治体労働組合の役割が重要です。大阪自治労連と一緒に、みんなの力を合わせましょう。



防災まちづくり研究会
報告集会
(3月2日)

すべての
労働者の賃上
げと安定雇用
を求める春闘
宣伝



賃上げと雇用で、景気回復!
大企業は、社会的責任をせよ!



吹田市非常勤職員雇い止め撤回を求める裁判原告

藤井 雅子さん(左) 福田 廣子さん(右)
(吹田関連労働組合) (吹田関連労働組合)

雇い止め撤回求め 大阪地裁に提訴

吹田市労連は、3月26日に雇い止め撤回を求める決起集会を開催し、雇い止め裁判をたたかう決意を固めました。

藤井さんは、「この半年はもどかしい思いでしたが、これからがスタート。全国に先がけて始めたデイサービスにやりがいを感じて、この職場に飛び込みました。困難なケースもありましたが、民間ではできないことを体験することができました。25年と4か月で解雇され、悔しい思いです。こんなことを二度とさせたくないの思いです」と語りました。

福田さんは、「21年がんば



吹田市非常勤職員雇い止め撤回めざす決起集会(3月26日)

つてきました。非常勤職員と正規職員とで、力をあわせて老人デイサービス、保健センターと勤務。介護保険制度に移行していろんな施設ができました。当時は利用者や家族への配慮もあり苦労しましたが」と、これまでを振り返り、裁判でたたかう決意を表明しました。

非常勤職員も正規職員も 胸張って働けるように!

河村学弁護士は、決起集会で「大阪では枚方に続く大きな非常勤職員の争議です。非常勤職員のみなさんが住民のみなさんに訴えることや、このたかいに正規職員が深く関わって、一緒にたたかうことが大切です」と訴えました。

藤井さんと福田さんの裁判闘争は、20数年も市民のために働いた人を、こんな簡単に首を切ってしまうのか」という怒りのたかひであり、全国で同じように働いている非常勤労働者の誇りと権利を守るたかひでもあります。

一方的な雇い止めは許されぬ! 悔しい思いを誰にもさせたくない!

吹田市の総合福祉会館で、生活介護事業に従事していた非常勤職員の藤井雅子さんと福田廣子さんの2人が、事業の民間委託を理由に雇い止めされたのは不当であると、撤回を求めて3月28日大阪地裁に提訴しました。